

# 平成23年度の決算数値がまとまりました

## 健保を取巻く状況

健康保険組合の財政状況は依然として厳しいものがあります。健保連の24年度健保組合予算早期集計では、保険組合の全体の43%（584組合）が保険料率を引き上げたにもかかわらず、約5、800億円の経常赤字を計上し、ついに5年連続の赤字予算となることが見込まれています。

財政悪化の最大の要因は、標準報酬が伸び悩む中で、後期高齢者支援金や前期高齢者納付金といった高齢者医療制度への過重な負担が健康保険組合に課せられていることにあります。社会保障・税一体改革が可決され、今後具体的な政策・制度の検討が進められていくことになりませんが、健康保険組合や被保険者の方々にとって将来への展望が描けるような制度改革が切望されるところです。

## 決算の内容

### ◆ 一般勘定について ◆

一般勘定の決算内容からご説明します。  
収入総額は972、381千円で、前年度比119、151千円の増収、予算額の98・7%、被保険者1人当たりでは429、307円でした。

この内訳は、健康保険料収入が742、063千円

で、予算額の100・6%、1人当たり327、621円となります。調整保険料収入は14、493千円で、予算額の100・5%、1人当たり6、398円、また前年度繰越金は、33、169千円、1人当たり14、644円、繰入金として172、687千円、1人当たり76、242円、国庫補助金収入は582千円で、1人当たり257円、財政調整事業交付金は7、790千円で1人当たり3、439円、雑収入は1、597千円で、1人当たり706円となっています。

支出総額は901、992千円で、前年度比101、931千円の増で、予算額の91・5%、保険料収入の121・6%、1人当たり398、230円でした（対前年度比58、068円の増加）。

(1) 事務所費は39、848千円で予算額の88・7%、保険料収入の5・4%、1人当たり17、593円でした。

(2) 保険給付費は447、125千円で、予算額の110・2%、保険料収入の60・3%、1人当たり197、406円となります。このうち法定給付費は430、895千円で、保険料収入の58・1%、1人当たり190、241円、付加給付費は16、230千円で、保険料収入の2・2%、1人当たりでは7、165円でした。

(3) 納付金は339、689千円で、予算額の103・8%、保険料収入の45・8%、1人当たり149、973円となります。その内訳は前期高齢者納付

## 支出

- その他の支出 0.47%
- 事務所費 4.42%
- 財政調整事業拠出金 1.61%
- 保健事業費 6.27%

保険給付費  
49.57%

納付金  
37.66%

こう  
使われます

# 平成23年度 収入支出決算概要表

## 一般勘定

### ●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
健康保険料収入	741,730	健保組合運営の財源として皆さんと事業主に納入していただきました
国庫負担金収入	333	国からの健保への補助金です
調整保険料収入	14,493	健保組合間の財政面における助け合い原資となる別枠保険料
繰越金	33,169	前年度の収支残金処分を、当年度に繰越して使用した金額
繰入金	172,687	収入不足を補填するため別途積立金から繰入
国庫補助金収入	582	国からの、保険給付費等への補助金
財政調整事業交付金	7,790	健保組合の高額医療費補助として、健保連から交付金を受けています
雑収入	1,597	受取利息や拠出金の精算金です
収入合計	972,381	

### ●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
事務所費	39,848	健康保険組合を運営するための経費として使用します
保険給付費	447,125	皆さんがお医者さんにかかる医療費や各種の給付金で、国が決めた法定給付と健保独自の付加給付があります
納付金	339,689	75歳以上の医療のための「後期高齢者医療制度」、65～74歳の「前期高齢者納付金」等のために健保が支出します
保健事業費	56,539	保健指導宣伝費（社会保険ガイド、健保だより、メンタルヘルス対策他）、疾病予防費（健康診査費他）に使用します
財政調整事業拠出金	14,486	健保組合間の財政面における助け合いのため、健康保険組合連合会への拠出金です
その他の支出	4,305	健康保険組合連合会に支払う年会費等です
支出合計	901,992	

## 介護勘定

### ●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護保険収入	29,265	介護保険の財源として皆さんと事業主に納入していただきました
繰越金	3,747	前年度収支残金処分を、次年度に繰越して使用した金額です
繰入金	2,558	準備金から繰入
国庫補助金収入	0	国からの補助金
雑収入(利子収入)	69	受取利息等
一般勘定受入	3,000	一般勘定からの受入
収入合計	38,639	

### ●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護納付金	37,756	介護保険財政をまかなうため国に納付金の形で支払います
支出合計	37,756	

続いて介護勘定についてご説明します。  
介護保険料として29、265千円、前年度の繰越

### ◆介護勘定について◆

(4) 保健事業費は56、539千円で予算額の56・6%であり、保険料収入の7・6%、1人当たり24、962円でした。このうち保険料収入に占める割合は、保健指導宣伝費0・9%、疾病予防費6・5%でした。

(5) その他は、営繕費680千円、財政調整事業拠出金14、486千円、連合会費625千円、介護勘定繰入3、000千円となりました。

金3、747千円、後期高齢者支援金159、989千円、退職者給付拠出金46、721千円、老人保健拠出金631千円でした。保険給付費と納付金の保険料に占める割合は、106・1%でした。

支出の介護納付金は37、756千円納付とされていきましたので、今年度は883千円の残金となりました。

\* 以上のとおり、一般勘定は収入合計972、381千円、支出合計901、992千円で差引残70、389千円となりました。法定準備金に30、000千円、別途積立金に15、269千円を積み増し、次年度繰越金として25、112千円を繰越して、平成23年度の事業を終了しました。

\* 介護勘定は収入合計38、639千円、支出合計37、756千円で差引残883千円となり、次年度繰越金として全額を繰越し、平成23年度の事業を終了しました。

## ●収支の割合

